

## 船舶事故調査報告書

平成28年7月28日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）  
 委員 小須田 敏  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突（海中の障害物）
発生日時	平成27年2月20日 05時00分ごろ
発生場所	和歌山県串本町潮岬南方沖 潮岬灯台から真方位180° 16.2海里（M）付近 （概位 北緯33° 10.0′ 東経135° 45.3′）
事故の概要	漁船 <sup>めぐみ</sup> 恵丸は、南進中、海中の障害物に衝突した。 恵丸は、船長が負傷し、船首船底部外板に破口を生じた。
事故調査の経過	平成27年2月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 恵丸、7.9トン WK2-3967（漁船登録番号）、個人所有 11.98m（Lr）×3.59m×1.22m、FRP ディーゼル機関、450kW（動力漁船登録票による）、平成4年10月27日 第252-18588号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長 男性 54歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和60年2月4日 免許証交付日 平成26年9月11日 （平成32年2月3日まで有効）
死傷者等	重傷 1人（船長）
損傷	船首船底部外板に破口
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約2m
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、かつお一本釣り漁の目的で、平成27年2月20日03時00分ごろ漁場に向けて串本町串本港を出港し、05時00分ごろ潮岬灯台から真方位180° 16.2M付近を約7ノットの対地速力で、自動操舵として南進中、突然、船底に衝撃を受け、船首部が持ち上がり、左舷側から転覆した。 船長は、転覆する前に操舵室外に出て、転覆後、本船の船底に這い上がっていたところ、所属する漁業協同組合から連絡がつかなくなっ

	<p>たとの情報を得て捜索中の僚船に、17時15分ごろ潮岬の南南東方50M付近で発見されて移乗し、串本港に運ばれ、待機していた救急車で病院に搬送され、肋骨骨折等と診断された。</p> <p>本船は、船体にリフター（浮き）を取り付けられて巡視船にえい航されていたが、時化でえい航が中止され、その後、流されて行方不明となった。</p> <p>（付図1 事故発生場所概略図 参照）</p>
その他の事項	<p>本船は、本事故当時、レーダー及びGPSプロッターが作動中であった。</p> <p>船長は、付近に他船はいなかったため、鯨と衝突したのではないかと本事故直後に思った。</p> <p>本船は、えい航される前に海上保安庁の潜水士によって損傷状況の調査が行われ、船首船底部外板に縦横約0.2mの破口が確認された。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していた。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	なし なし なし <p>本船は、潮岬南方沖を南進中、海中の障害物に衝突した可能性があると考えられるが、衝突した障害物については、明らかにすることはできなかった。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、夜間、本船が、潮岬南方沖を南進中、海中の障害物と衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>

付図1 事故発生場所概略図

